



C.P.I. The Committee for Promotion to Innovate Japanese
People by Educational and Cultural Contact, since 1979
教育文化交流推進委員会

1810005 東京都三鷹市中原 2-16-9

TEL& FAX:0422-49-3808

URL <http://www.cpi-mate.gr.jp>

2020 年度事業報告

認定 NPO 法人 C.P.I.教育文化交流推進委員会

The Committee for Promotion to Innovate Japanese people
By Educational and Cultural Contact
Authorized by Japanese Government

教育里子への支援を行う正会員に、年末の状況報告がありました。

奨学修了者から里親への手記に、「ありがとう」の声が寄せられています。

上記の現地会報で、スリランカおよびインドネシアの奨学修了者からの手記を、掲載しました。

「C.P.I.の里親さんのご支援による今の自分」を題材に、気持ちを込めてくださったと思います。ひとりでも多くの方の目に触れて戴きたい内容でした。

インドネシアは、クルアルガ 15 号から掲載しています。大学を優秀な成績で出て、現在高い地位にいる奨学修了者でも、卒業後の紆余曲折を経て、今があることを知ることができます。

C.P.I.の教育里親さんから「卒業した後に、どのように過ごしているのか心配です」とのご質問がありました。現在は成功している修了者から手記をもらえるのではないかと考えました。それぞれの卒業生との連絡をつけるのは難しかったのですが、手記の内容について何回も詰めていき、よくわかるものになったと思います。

今後とも、彼らとの連帯を以て、現地で教育支援する修了者を探していく努力を続けたいです。

昨年、最も長く教育里親を続けて下さっている会員さんのお一人から、スリランカで里子たちと会えたとの、嬉しいお手紙が届きました。振り返れば、2000 年のはじめに、『21 世紀に向けたビジョン』を発表しまして、C.P.I.の向かう道筋を示し、一緒に歩いていきましょうと、呼びかけを行いました。それから 20 年。教育里親さんお一人おひとりの想いをお聞きする機会も少なく、それが残念なこの頃でした。お手紙には、とても励まされました。有り難うございました。

2017 から修了者会を組織して以来、彼らの働きでスリランカ内支援が広がり、現在数百名の方々が支援しています。連携を広げていく考えです。

難民キャンプから退去せられながら、故郷に戻れない子どもたちが困窮しているので、支援が必要と分かりました。

スリランカでは、教育里親活動を行う価値の高さを知って戴く必要があります



写真中央の方は在日スリランカ大使閣下です

たく左の写真は、2017 年度のプロモーション活動の催事です。会場は満員でしたが、教育里親の新規募集には、もうひとつ効果があがりませんでした。

そこで、2019 年度以降には、在日スリランカ大使閣下にご協力戴いて、スリランカに強い関係を、もっておられる方々をお招きできるチャリティ催事を行いたく。教育里親になって下さるよう、お願いします。

準備が整いきらず、延期しており、やりかたも、アピールの仕方も練りなおしていきます。応援をお願いします。

なお、会員の皆様、教育里親募集のためのリーフレットを作成しました。住んでおられるところの国際交流協会・大学等のボランティア呼びかけカウンター・スリランカレストランなどに置きたいと思います。

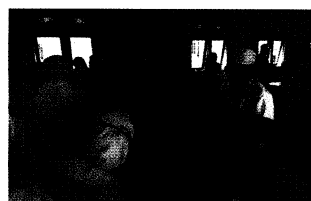
お申出ください。E-Mail  FAX 0422-49-3808 でお待ちします

貧困な人々の自立を助ける活動を行っています（定款第七条1項2号）

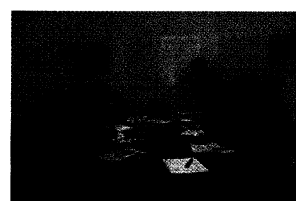
インドネシアへの、日本と連携する教育支援は、農・山・漁村地域の実務高校生対象に、シフトしました。時代の変遷により、そのほうが、教育支援効果をあげることができると確信しています。



2013年に竣工させた南スラウェシ州パンカプ県 漁業改革を中学段階から教育するコミュニティカレッジを軸に、まったく新しい教育を導入しています。



チアンジュール市 薬剤師養成高校の在校生124名中、22名が教育里子です



スマラン市 山村農業改革の研修会。スマラン山村部に15名の教育里子がいます

C.P.I.の活動への、市民の参画を呼びかけてきました（定款第七条1項3号）

(1) インドネシアでのチャリティ活動に賛同して下さる市民との連携を、進めました。

<http://www.indonesia-festival.com>

被災地の命を守る。『コラボ・奇跡の水』を子どもたちに！



スマホで QR コードを読み取って下さい。

昨年からはインドネシアで続々と起きる天災の被災者の飲料水を配給するために、車載浄水機を開発しました。本体に企業ロゴを印刷する『コラボ・奇跡の水』への企業 CSR を募集中です。一刻も早い救援参加を！



(1) これまで① 2003年に正規薬剤師資格を得られる薬剤師養成高校を西ジャワ州・チアンジュールに、
② 2005～2008年に世界銀行と組み、高地農業改革組合を中部ジャワ州・スマランに、
③ 2013年に資源管理漁業の大切さを教える中学校を南スラウェシ州パンカプに、
設立しました。C.P.I.は、コミュニティカレッジの運営に努力する人々の先頭に立っていました。
2019年度以降、これらのコミュニティカレッジが持続するよう、現地との相談・励ましを行っています。

教育里親制度プログラムの継続推進（定款第七条1項1号）

(1) 貧困家庭にありながら学業成績優秀な学生への教育支援を行いました。

① スリランカ教育支援では、奨学生当りの教育支援金は、現地ルピーで例年水準を維持しました。

教育支援金2020年度 スリランカ奨学生数（但し、C.P.I.教育里親で受け持つ奨学生に限る）

学年	9年生	10年生	11年生	12年生	13年生	AL試験再受験者	合計
人数	24名	24名	54名	135名	74名	39名	350名

スリランカ教育支援の2020年度計画と実績（金額単位：千円）

	2020年度	
	実績	備 考
里親数/里子数(人)	322/350	
認証式支給学用品	2460	ひとり当たり支援額を、維持する。
毎月支給奨学費	6055	補習クラス、特待生補助、通学、薬代等(同上)
年内支給奨学費	215	通学靴、制服仕立費、写真代(上)
(小計①)	(8,730)	
卒業生活動補助	0	支援できる卒業生活動を推進できなかった
調査・報告作業費	0	日本側は報告・広告費に計上した
(小計②)	(0)	
合計	8,730	

② インドネシア教育支援では奨学生当りの教育支援金は、現地では例年水準を維持しました。

教育支援金2020年度 インドネシア奨学生数（但し、C.P.I.教育里親で受け持つ奨学生に限る）

学年	高校1年生	高校2年生	高校3年生	大学生	合計
人数	28名	23名	26名	43名	120名

インドネシア教育支援の2020年度実績(12,000,000 未送金。コロナ禍のため実現できず)

(金額単位：千円)

	2020年度	
	実績	備 考
里親数/里子数(人)	109/120	
高校生学費	876	中学生支援は、政府が「完全義務教育制」に踏み切ったことを機会に、奨学制度から一度外すことにした。
中高生試験費		
大学生学費	401	大学2年生まで学費支援を行っている。
教育里子会の活動	1338	教育里子の集会・彼らの社会活動などを支援。
調査・日常把握等		地域リーダー・アシスタントの交通費・電話・郵送・その他の経費。
電話・郵便・交通費等		
合計	2615	

(2)教育里親に対する里子の状況報告を行いました。

(3)スリランカの現地報告ステューティ誌を12月に発行。

(4) インドネシア教育里子への支援を行う正会員に、年末の状況報告。

令和2年度（2020年度）決算報告書

（非営利活動に係る事業 総括表）

自 令和2年（2020年）4月1日
至 令和3年（2021年）3月31日

寄付控除認定 特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会

2020年度特定非営利活動に係る事業 総括会計収支計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	
(経常収支の部)		
I 経常収入の部		
会費収入		
正会員入会金収入	3,000	
正会員会費収入	7,584,000	7,587,000
寄付金収入		
スリランカ教育支援金収入	8,750,000	
インドネシア教育支援金収入	2,650,000	
賛助支援金収入	260,000	
一般寄付金	316,420	
国際協力応援団寄付	12,492	11,988,912
運用財産利息収入(国内)	45	
運用財産利息収入(インドネシア)	12,561	12,606
経常収入合計		19,588,518
II 経常支出の部		
事業管理費(別紙)		7,062,452
教育支援事業費		
スリランカ教育里親制度プログラム	8,500,000	
インドネシア教育里親制度プログラム	1,443,172	9,943,172
特別会計支出		
インドネシア特別会計(別紙明細)	1,060,513	
海外派遣費	430,397	1,490,910
国内派遣費		
地域会活動費		
总会関連費	160,864	160,864
報告広報費	219,519	219,519
IT広報費	259,931	259,931
経常支出合計		19,136,848
経常収支差額		451,670
III その他資金収入の部		
インドネシア特別会計から繰入		
IV その他資金支出の部		
一般会計への繰入れ		
当期収支差額		451,670
前期繰越収支差額		45,035,175
次期繰越収支差額		45,486,845

(単位:円)

(別紙:事務管理費)

専務者給与	3,600,000
職員給与	1,776,000
雑給	17,620
法定福利費	235,143
福利厚生費	10,469
旅費交通費	21,000
交際費	0
郵便料	49,583
国内電話料	235,385
海外電話料	9,700
会議費	0
消耗品費	71,285
事務用品費	0
運搬費	2,070
水道光熱費	41,131
賃借料	621,510
図書研究費	18,480
支払手数料	19,259
諸会費	59,900
リース料	0
雑費	40,465
保険料	105,140
修繕費	127,712
租税公課	600
事業管理費 合計	7,062,452

(次期繰越収支差額の内訳に係わる特記)

(総 括)

流動資産	58,048,345
流動負債	12,561,500
差引繰越収支差額	45,486,845

2020年度 特定非営利活動に係る事業 総括会計 正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

C.P.I.教育文化交流推進委員会

(単位:円)

勘定科目	金額	
正味財産増加の部		
資産増加額		
当期収支差額(プラス)	451,670	0
固定負債減少額		
増加額合計	0	0
		451,670
II 正味財産減少額	0	
資産減少額		
当期収支差額(マイナス)		
固定負債増加額	0	
減少額合計		0
		0
当期正味財産増減		451,670
前期繰越正味財産額		45,160,159
当期正味財産合計額		45,611,829

2020年度 特定非営利活動に係る事業 会計総括貸借対照表

2021年3月31日現在

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位：円)

勘定科目	金額	勘定科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
(流動資産)		(流動負債)	
現金預金	50,150,382	前受金	12,572,000
前渡金	5,010,000	預り金	-10,500
短期貸付金	961,382		
預け金	1,926,581		
流動資産合計	58,048,345	流動負債合計	12,561,500
(固定資産)		(固定負債)	0
その他固定資産	124,984	固定負債合計	0
固定資産合計	124,984		
		負債合計	12,561,500
資産合計	58,173,329	III 正味財産の部	
		正味財産	45,611,829
		負債及び正味財産合計	58,173,329

2020年度 特定非営利活動に係る事業 総括会計 財産目録

2021年3月31日現在

認定特定非営利活動法人
C.P.I.教育文化交流推進委員会
(単位:円)

勘定科目	金額	
I 資産の部		
(流動資産)		
現金預金		
現金	80,384	
郵便振替センター	3,882,831	
みずほ銀行調布仙川店(普)	493,673	
みずほ銀行調布仙川店(寄付窓口)	32,227	
みずほ銀行調布仙川店(北野家賃)	111,320	
三菱東京UFJ銀行本店(普)	4,057,585	
三菱東京UFJ銀行本店(US\$)	5,475	
HNB Colombo(スリランカ 円口座)	0	
BOTM Jakarta(インドネシア 円口座)	24,693	
CIMB NIAGA(インドネシア Rp.口座)	10,110	
BRI Jakarta(インドネシア RP.当座)	891,147	
BRI Jakarta(インドネシア Rp.普通)	564,950	
インドネシア Rp 現金	3,139	
インドネシア 女性組合定期預金	39,992,848	50,150,382
前渡金(註1)	5,010,000	5,010,000
短期貸付金(註2)	961,382	961,382
預け金(註3)	1,926,581	1,926,581
流動資産合計		58,048,345
(固定資産)		
その他固定資産(註4)	124,984	124,984
固定資産合計		124,984
資産合計		58,173,329
II 負債の部		
(流動負債)		
前受金(註5)	12,572,000	
預り金	-10,500	12,561,500
流動負債合計		12,561,500
(固定負債)		
固定負債合計		0
負債合計		12,561,500
III 正味財産の部		
正味財産		45,611,829

2020年度 特定非営利活動に係る事業 会計総括財産目録の注釈

インドネシア内現地通貨預金につき、現地通貨勘定と円勘定を対比して記する。

	(現地ルピア価額)	(円価額)
インドネシアRp.普通口座(CIMB NIAGA)	Rp1,186,238	¥10,110
インドネシアRp.当座口座(BRI Jakarta)	Rp77,931,445	¥891,147
インドネシアRp.普通預金(BRI Ambasadior Mal)	Rp65,226,785	¥564,950
インドネシア Rp 現金	Rp389,498	¥3,139
インドネシア Rp.定期預金(組合定期)	Rp3,355,000,000	¥39,992,848

(特記 1)

円の帳簿価額は、インドネシアRp.による現預金勘定の2021年3月31日時点の移動平均法により為替レートを算出している。組合定期を除く期末の残高合計Rp.144,737,9665を、円の総額 1,469,346円で割ると、時価(1円=98, 50ルピア)である。

組合定期は、現在の時価額では 34,060,913円となり、設定時の為替レート(1円=83.89ルピア)の時の簿価額 39,992,848円と比較すると、5,931,935円と大幅な評価損にある。但し、当会は円への戻入れを行わない前提で活動を進めているため、為替の評価損益は計上しないことにしている。

(特記 2)

インドネシア浄水施設プロジェクトの準備金1,392,982円はインドネシア特別会計の流動資産内に在る。

(特記 3)

昨年も特記した、組合定期に係わる処理につき、進展があるので以下に述べる。

本件は、インドネシアに於いて貧困女性の救済に当たっている、KOPRSI WANITA INDONESIA (KOPWANI)との協働活動の一環として、C.P.I.からKOPWANIに対する資金支援から発生した。2009年3月から2019年3月と期限を設定して、2019年3月の期限到来により戻し入れを約定したものである。

設定当時、KOPWANIは、MINISTRY OF HOUSINGとの二人三脚で、女性向けの家屋を提供する業務を行い、同MINISTRYが、建設費の半額負担をし、さらに購入者の銀行ローンの保証を行う形で進んでいた。

さらに、KOPWANIは、広大な土地を所有しており、同MINISTRY大臣からの依頼もあり、応じたものであった。

しかし、2011年秋に、同MINISTRYが、その業務に対する支援方針を変えたため、KOPWANIが苦境に立った。

C.P.I.執行部は、2012年に、KOPWANIに対して、MINISTRY方針の変化を理由に全額戻入を申し入れたが、当時、KOPWANIにとって、それは非常に難しい状況にあった。そこで、KOPWANIからの申し入れにより、当時KOPWANIの家屋建設プロジェクトの責任者であった[]から、家屋プロジェクト収入を以て返済させる、とのことであった。そこでC.P.I.執行部は、その作業を開始し、2014年3月までその作業を行っていたが、[]の変節により、それが叶わず、以降、2016年に本件代理人を指定しての回収努力を続けてきた。

2020年3月の時点で、[]から、返済に係るスケジュールを示す文書が提出されることとなった。KOPWANIは、当法人が[]から預かり保管しているふたつの土地の価値が、返済価値に及ばないことを認識し、かつ、KOPWANIと[]が共同開発可能な土地を原資とした返済を行うべく、三者交渉を設ける件を確約した。その会合を行う段取りをつけたところで、コロナウイルス禍が起り、現在、会合期日等を延期している。

(資産の部の註記事項)

註 1: 2021年度のスリランカ教育里親制度プログラムに係わる、2020年内のSNECCへの前渡分

註 2: 三鷹市北野の本部作業所の敷金およびインドネシア現地補佐へのコロナウイルス禍対策等貸付

註 3: 女性組合問題の解決に備えて、法定代理人に渡す金額Rp.200,000,000ほか1,926,581円を、NOTARISに預けている。NOTARIS は、[]。

註 4: 電話権利代残高(長期に継続残)

(負債の部の註記事項)

註 5: 2020年度内の会費・教育支援金収入のうち、2021年度分の入金額

前事業年度 役員名簿

(役員名簿及び役員のうち報酬を受ける者の名簿)

特定非営利活動法人 シーピーアイ教育文化交流推進委員会 _____

1 確認事項 (法第20条及び第21条を確認しました。)

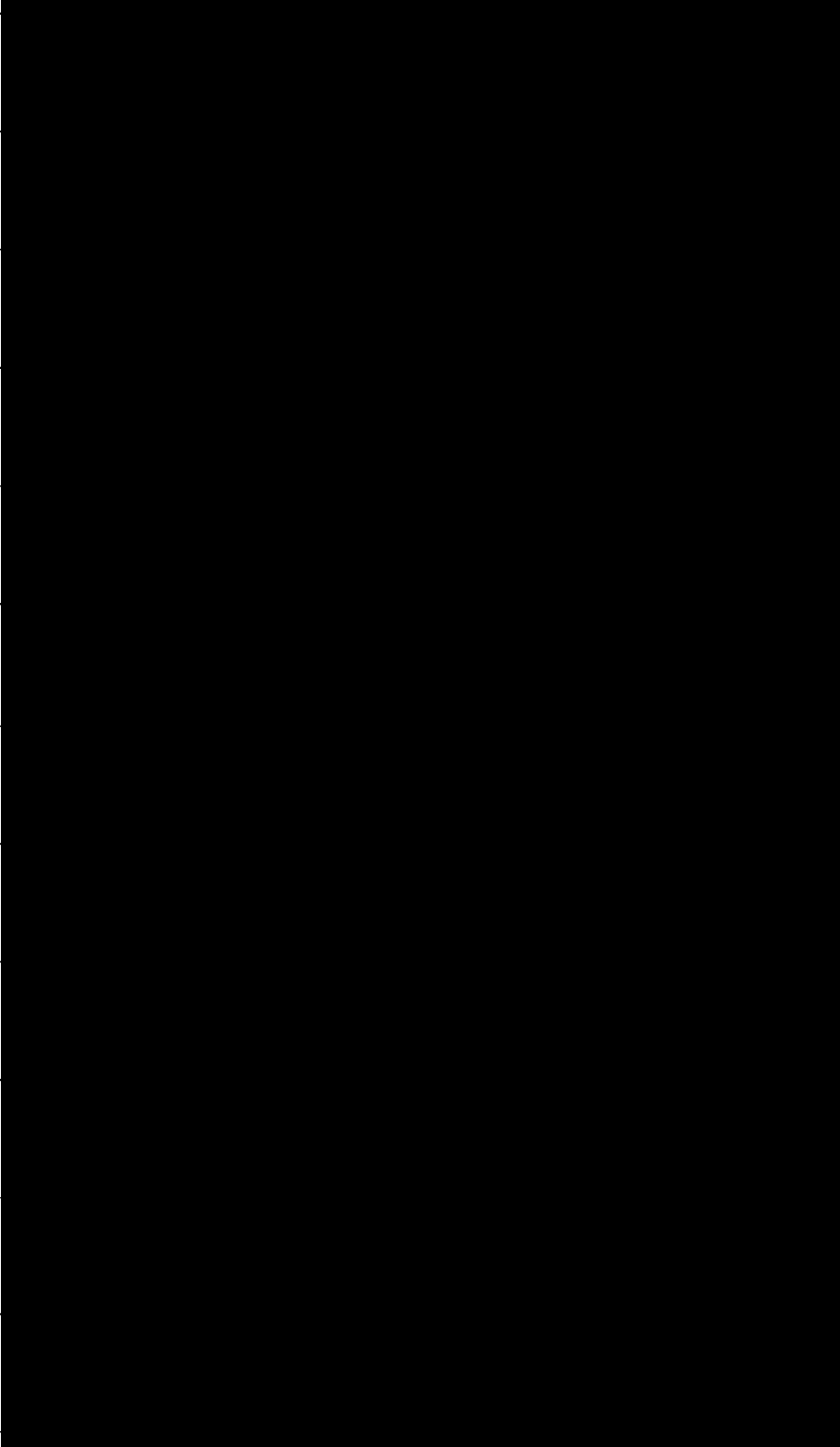
- 以下の役員には、欠格事由者が含まれません。(法第20条関係)
- 以下の役員は、親族の規定に違反していません。(法第21条関係)

2 役員一覧

	役名 (どちらかに○)	(フリガナ)		報酬の有無 (どちらかに○)	役職名等
		氏	名		
1	理事・監事	コシ	キフミ	無	会長
		小西	菊文		
2	理事・監事	ヨコハマ	ヒデノリ	無	副会長・ 会計委員長
		横濱	英紀		
3	理事・監事	カトウ	ヨシノブ	無	会計補佐
		加藤	凱信		
4	理事・監事	ミヤハラ	カツヘイ	無	インドネシア 交流担当
		宮原	克平		
5	理事・監事	ムタ	シンイチロウ	無	スリランカ 交流担当
		牟田	慎一郎		
6	理事・監事	ウエダ	キヨウイチ	無	総務
		植田	恭一		
7	理事・監事	タカシマ	ケイコ	無	交流担当
		高嶋	恵子		
8	理事・監事	サノ	ユウ	無	総務
		佐野	友		
9	理事・監事	シバタ	アサカ	無	書記役
		柴田	朝香		
10	理事・監事	ナガ	ヨシミツ	無	監事
		埴	善光		
11	理事・監事	クボタ	ヒデオ	無	監事
		久保田	秀雄		

社員名簿 (社員のうち10人以上の者の名簿)

特定非営利活動法人シーピーアイ教育文化交流推進委員会

	氏名	
1	コシ キクミ 小西 菊文	
2	ヨハラ ヒデノリ 横濱 英紀	
3	カトウ シノブ 加藤 凱信	
4	ミハラ カツハイ 宮原 克平	
5	ムタ シンイチロウ 牟田 慎一郎	
6	ウエダ キョウイチ 榎田 恭一	
7	サノ ユウ 佐野 友	
8	シバタ アサカ 柴田 朝香	
9	タカシマ ケイコ 高嶋 恵子	
10	ハナガキ ヨシミツ 塙 善光	
11	クボタ ヒデオ 久保田 秀雄	
12		

監査報告書

認定特定非営利活動法人
C.PI.教育文化交流推進委員会
会長 小西菊文 殿

私ども監事は、令和2年（2020年4月1日）より令和3年（2021年）3月31日の期間における会の運営につき、令和3年（2021）8月15日に監査を行いました。

当期間に於いて、XXXXXXXXXXが四半期毎に詳細な会計簿チェックを行っておられることに鑑み、今回は、政府の緊急事態宣言下にある目下の事情を考慮して、事前に財務諸表（収支報告書・正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録）および金融資産残高証明書の文書提出をして戴き、さらに質問数点に係わる説明を受け、これらを精査し了承の上で、8月15日に監査を終了致しました。その結果につき以下のとおり報告いたします。

記

1. 私たちは、当法人の定款第20条の定めに従い、2020年4月1日～2021年3月31日）の事業報告を受け、期末現預金の金額と残高証明書の照合、仕訳試算表と会計帳簿の内容との照合、収支計算書・正味財産増減計算書・貸借対照表・財産目録の精査等、監査を行いました。
2. 上記の監査の結果、当法人の業務執行の状況が適正に行われており、また財務諸表に於いて、収支状況及び財務状況が適正に表示されていることを確認致しました。

令和3年（2021年）8月15日

監事 久保田秀雄 XXXXXXXXXX

監事 高 善光 XXXXXXXXXX